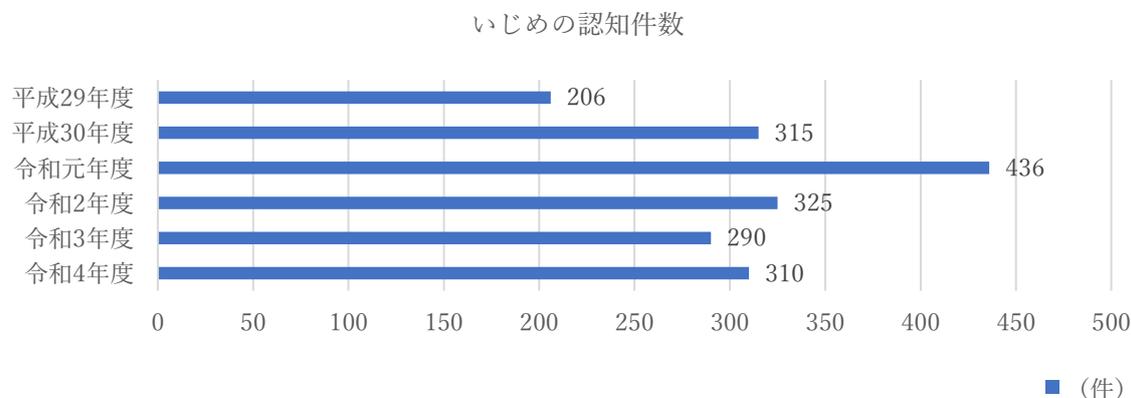


# 資料 2

## 市立小・中学校のいじめと不登校の現状

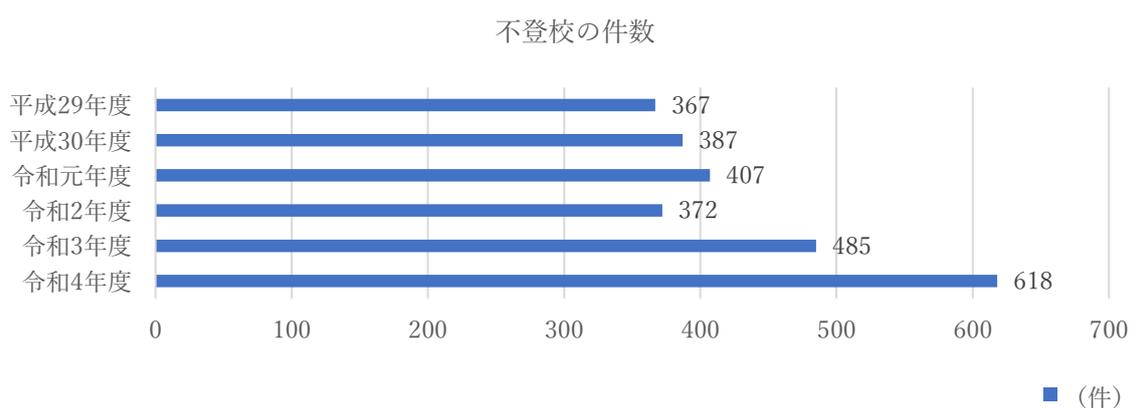
### 1. 福島市立小・中学校のいじめの認知件数（過去6年間）



いじめの状況（認知件数）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
小 学 校	137	205	306	246	207	241
中 学 校	69	110	130	79	83	69
計	206	315	436	325	290	310

### 2. 福島市立小・中学校の不登校の件数（過去6年間）



不登校の状況（件数）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
小 学 校	51	81	100	104	133	186
中 学 校	316	306	307	268	352	432
計	367	387	407	372	485	618

### 3. いじめの未然防止及び不登校改善等に向けた福島市教育委員会の主な取組について

#### 【いじめ】

- (1) 「福島市いじめ防止基本方針」の策定と啓発
- (2) 定期的ないじめ調査の実施 ※スクールソーシャルワーカー（以下SSW）、スクールカウンセラー（以下SC）
  - ・いじめ実態調査（年3回）、取組状況調査（年2回）を実施し、学校の実態把握および学校へ連絡、訪問、SSWの派遣など
- (3) いじめ防止サポートチームによる組織的対応
  - ・いじめ防止サポートチーム
    - 学校教育課及び教育研修課の指導主事、SSW及びSCで組織し、各学校の事例の共通理解やケース検討会等を行っている。

#### 【不登校】

- (1) 教育研修課所属SSW及びSCの配置（各3人）
- (2) SC（県費）を配置している学校数
  - ・小学校 22校／全45校
    - ※SC（県費）が配置されていない小学校（23校）には、市単独で子どもハートサポート相談員6人を配置している。
  - ・中学校 全19校（うち6校は週2回）
- (3) 生徒支援教員（平成30年度よりスタート）
  - 不登校による別室登校生徒の支援のため、市単独で中学校に生徒支援教員を配置  
（主な職務①個別の学習支援 ②担任等との連絡調整 ③支援・相談）

	平成31年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
配置校数	3	3	3	5	8	8

- (4) 「不登校生徒支援研究協力校」の指定
  - ・平成5年度：信夫中 平成4年度：平野中 平成3年度：信陵中  
平成2年度：北信中（令和2年度より実施）
  - ・「不登校支援教室」（SSR）を設けている中学校1校を選定し、不登校支援教室での指導、支援、環境整備について研究している。
  - ・成果や課題を検証するとともに、各学校に広く発信している。
- (5) 適応指導教室の設置
  - ・福島市総合教育センターに適応指導教室「ふれあい教室」を設置している。
  - ・社会的自立に向けた支援を実施。（令和4年度 1組：3名 2組：37名）